

コードとは和音のこと。特にポップス・ロック・ジャズなどではコードについて理解しておくことは重要なポイントです。この本で解説した用語、これだけはぜひマスターしてください。

例えば車を運転するのに交通標識や車の動かし方を覚えるように、コードの勉強も音楽上の約束事を一つ一つ理解して活用していくために必要なのはいうまでもないことです。

本書は、コードに興味あるが理論書はどうもとっつきにくくてという方のために、項目別にわかりやすく解説してみました。いつもバックのなかに入れて持ち歩き、つまみ食いの的に読みたいところを見て、実際の演奏や曲作りに役立てていただければうれしいです。

それでは、Have a nice chords !!

Chapter-01	楽譜	<i>Music Sheet</i>
五線譜／Staff Notation	006
タブラチュア／Tablature	007
ギター・コード・ダイアグラム／Guitar Chord Diagram	008
キーボード鍵盤図／Keyboard Diagram	009
音部記号／Clef	010
Chapter-02	音楽用語	<i>Music Terms</i>
音名／Pitch Name	011
音程／Interval	012
トライアド／Triad	014
コード／Chord	015
コード・ネーム／Chord Name	016
コード・フォーム／Chord Form	017
コード・トーン／Chord Tone	018
ノン・コード・トーン／Non Chord Tone	019
ハーモニー／Harmony	020
ディグリー（度）／Degree	021
ディグリー・ネーム／Degree Name	022
トナリティ（調性）／Tonality	023
キー（調）／Key	024
Chapter-03	主要三和音	<i>Fundamental Chord</i>
主要三和音／Fundamental Chord	025
トニック・コード（主和音）／Tonic Chord	026
サブドミナント・コード（下屬和音）／Sub Dominant Chord	027
ドミナント・セブンス・コード（属7の和音）／Dominant Seventh Chord	028
副三和音／Sub Fundamental Chord	029
トライアド・プラス・ワン／Triad Plus One	030
代理和音／Substitute Chord	031
トニック・メジャー・コードの代理和音／ I major	032
トニック・マイナー・コードの代理和音／ I minor	033
サブドミナント・メジャー・コードの代理和音／ IV major	034
サブドミナント・マイナー・コードの代理和音／ IV minor	034
ドミナント・セブンス・コードの代理和音／ V Seventh	035
Chapter-04	コード・タイプ	<i>Chord Type</i>
コード・タイプ24／Chord Type 24	036
メジャー・コード／Major Chord	037

マイナー・コード／Minor Chord	042
ドミナント・セブンス・コード(属七の和音)／Dominant Seventh Chord	047

Chapter-05 ダイアトニック・コード Diatonic Chord

ダイアトニック・コード／Diatonic Chord	052
メジャー・ダイアトニック・コード／Major Diatonic Chord	053
マイナー・ダイアトニック・コード／Minor Diatonic Chord	053

Chapter-06 コード進行 Chord Progression

コード進行／Chord Progression	054
コード進行・パターン／Chord Patterns	055
五度圏／Cycle of Fifth	056
ドミナント・モーション／Dominant Motion	057
ダブル・ドミナント・モーション／Double Dominant Motion	058
ツー・ファイブ・モーション／Two Five Motion II - V	059
ケーデンス(終止形)／Cadence	060
偽終止／Deceptive Cadence	061
循環コード／Cyclic Chord	062
逆循環コード／Reverse Cyclic Chord	063
パッシング・ディミニッシュ・コード／Passing Diminished Chord	064
半音進行／Chromatic Motion	065
カウンター・ライン／Counter Line	066
クリシェ／Cliché	067
ブルース・コード進行／Blues Chord Progression	068

Chapter-07 コード・スケール Chord Scale

スケール(音階)／Scale	069
コード・スケール／Chord Scale	070
スケール・ノート／Scale Note	071
ダイアトニック・スケール(全音階)／Diatonic Scale	072
メジャー・スケール(長音階)／Major Scale	073
マイナー・スケール(短音階)／Minor Scale	074
教会旋法(チャーチ・モード)／Church Mode	075
アヴェイラブル・ノート・スケール／Available Note Scale	076
クロマチック・スケール(半音階)／Chromatic Scale	077
オルタード・ドミナント・スケール／Altered Dominant Scale	078
ホール・トーン・スケール(全音音階)／Whole Tone Scale	079
ディミニッシュ・スケール／Diminished Scale	080
コンビネーション・オブ・ディミニッシュ・スケール ／Combination of Diminished Scale	081

ドミナント・モーション・スケール／Dominant Motion Scale	082
ブルー・ノート・スケール／Blue Note Scale	083
ロック・コード・スケール／Rock Chord Scale	084
スパニッシュ・スケール／Spanish Scale	085
ペンタトニック・スケール／Pentatonic Scale	086
沖縄ペンタ・スケール／Okinawa Pentatonic Scale	087

Chapter-08 分数コード Fractional Chord

オン・コード／On Chord	088
分数コード(アッパー・ストラクチャー・トライアド)／Upper Structure Triad	089

Chapter-09 テンション・コード Tension Chord

テンション・コード／Tension Chord	090
テンション・ノート／Tension Note	091
オルタード・テンション／Altered Tension	093

Chapter-10 調 Key

移調／Transposition	094
転調／Modulation	095
平行調／Relative Keys	096
ピボット・コード／Pivot Chord	097

Chapter-11 音楽用語 Music Term

トーン／Tone	098
シングル・トーン／Single Tone	099
クォーター・トーン／Quarter Tone	100
ユニゾン(完全一致)／Unison	101
フレーズ／Phrase	102
アドリブ(即興演奏)／ad lib	103
アレンジメント／Arrangement	104
ヴァンプ／Vamp	105
オブリガート／Obbligato	106
移動ド／Movable Do	107
固定ド／Fixed Do	108
異名同音／Enharmonic	109

Chapter-12 コード用語 Chord Term

協和音／Consonance	110
協和音程／Consonance Interval	111
協和和音／Consonance Chord	112

不協和音／Dissonance	113
不協和音程／Dissonance Interval	114
不協和和音／Dissonance Chord	115
ヴォイスिंग／Voicing	116
外声と内声／Outer Voice & Inner Voice	117
コード・ワーク／Chord Work	118
アプローチ・ノート／Approach Note	119
椅音 (チェンジング・ノート)／Changing Note	120
掛留音 (サスペンデッド・ノート)／Suspended Note	121
アヴォイド・ノート／Avoid Note	122
導音 (リーディング・ノート)／Leading Note	123
トライトーン／Tritone	124
重複音／Overlap Note	125
オミット／Omit	126
ロー・インターバル・リミット／Low Interval Limit	127
セカンダリー・ドミナント／Secondary Dominant	128
転回形／Inversion	129
密集和音 (オープン・ハーモニー)／Open Harmony	130
開離和音 (クローズ・ハーモニー)／Close Harmony	131
ベース・ライン／Bass Line	132

Chapter-13 コードの奏法

Chord Play

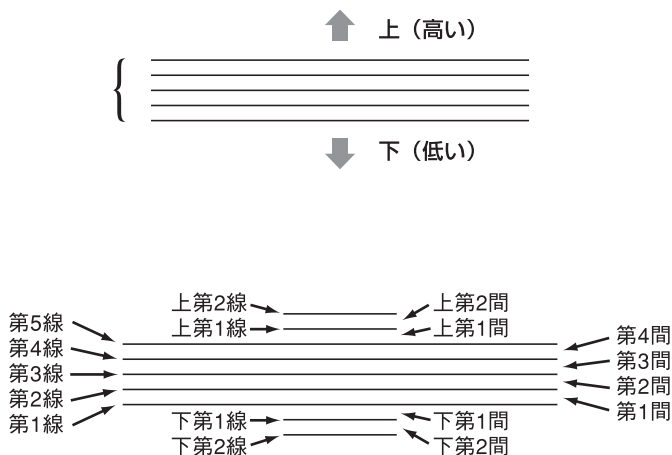
ブロック・コード／Block Chord	133
アルペジオ (分散和音)／Arpeggio	134
コード・ストローク／Chord Stroke	135
ブローケン・コード／Broken Chord	136
ベル・トーン／Bell Tone	137
ロー・コードとハイ・コード／Low Chord & High Chord	138
オープン・ハイ・コード／Open High Chord	139
コンスタント・ベース／Constant Bass	140
ウェスタン・グリップ／Western Grip	141
パッティング／Patting	142
ボサノヴァ・コード・バックイング／Bossa Nova Chord Backing	143
スリー・フィンガー・ピッキング／Three Finger Picking	144
ロック・ベース・パターン／Rock Bass Pattern	145
ウォーキング・ベース／Walking Bass	146
コードネームをわかりやすく書くコツ	147
ペダル・ポイント／Peddal Point	148

五線譜

Staff Notation

5本の、横に引いた平行な線で、音の高低を示す表。音は上に行くほど高くなり、下へ行くほど低くなる。

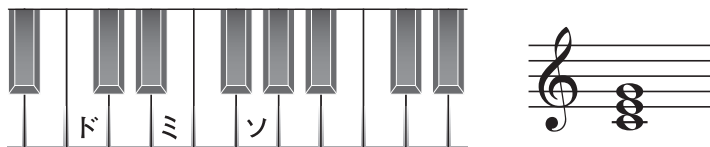
5本の線を基本線と呼び、必要に応じて上・下（高・低）に加線を使用する。



キーボード鍵盤図

Keyboard Diagram

ダイアグラムといえば、ギターの特売特許という感じだが、ここではキーボードの鍵盤図(ダイアグラム)を紹介しておこう。



音部記号

Clef

五線だけでは音の位置が分からない。そこで、五線譜上に音名を指定する記号が必要になる。一般によく使われているのが、ト音記号とヘ音記号。

■ ト音記号 (G clef)

高音部記号ともいい、メロディやギターなどに使う最も一般的な音部記号。第2線をト音(G音)とするもので、高音域の記譜に用いられる。



■ ヘ音記号 (F clef)

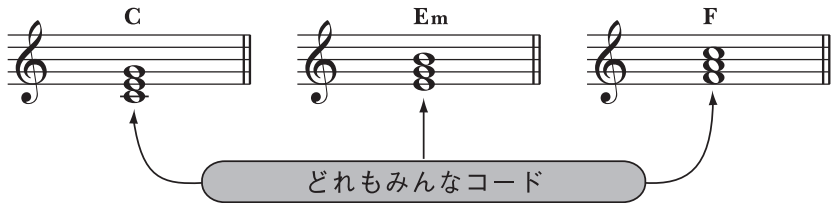
低音部記号ともいい、ベースなど低い音のための記号。第4線をヘ音(F音)とする。



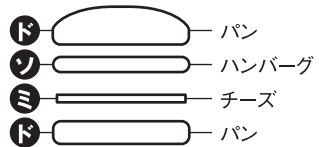
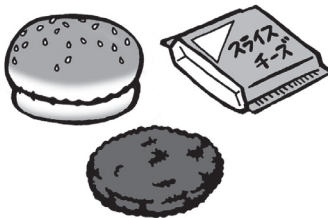
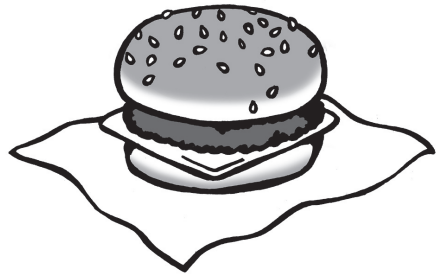
コード

Chord

コードとは和音のこと。2つ以上の音をジャーンと鳴らしたものを、一応コード（和音）というが、音楽で使える和音というのは、規則的に選ばれた音の集まりということになる。



ひとつひとつだと
ただの食材（音）だけど、
一緒になると
コード・バーガー!



ノン・コード・トーン

Non Chord Tone

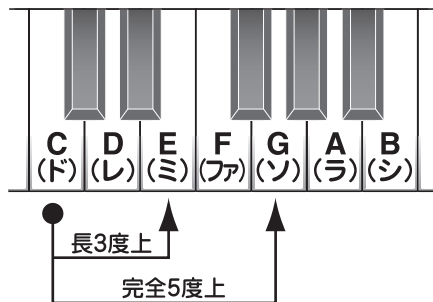
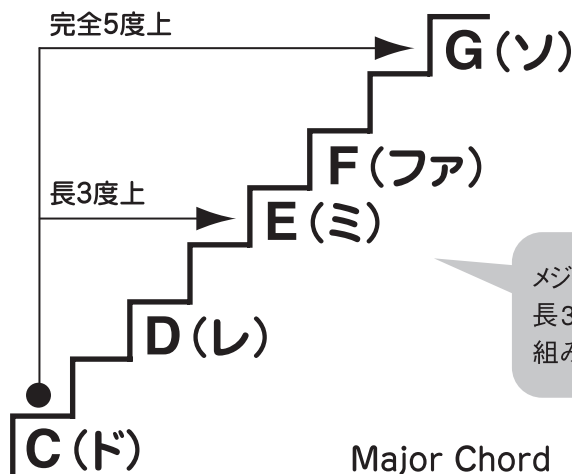
コード・トーンの意味が分かっているならば、すぐに想像が付くが、コードの構成音以外の音を非和声音 (non harmonic toneともいう) という。例えばC6の場合、ド・ミ・ソ・ラはコード・トーンで、レやファなどがノン・コード・トーン。メロディラインを装飾するように、短めの音符として使う (例外もある)。コードにメロディを付けるときには、このノン・コード・トーンの使い方が決め手になるといってもいいだろう。



メジャー・コード

Major Chord

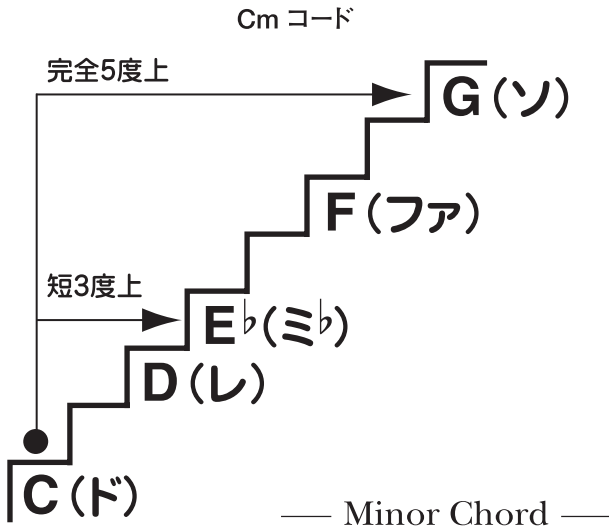
メジャーとは、重要という意味。メジャー・コードは、コードの王様みたいなもの。その響きは、明るく堂々としている。



マイナー・コード

Minor Chord

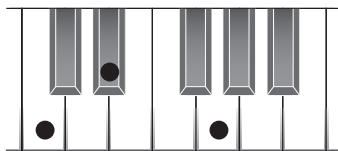
マイナーを直訳すると、重要ではないという意味。しかし音楽でのマイナーは、とても重要な役割で、メジャーとは対照的に、悲しげな淋しさを感じさせるのが特徴。



(9) マイナー・コード

(□ m)

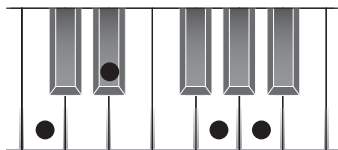
マイナー・コードは、小文字のmで表し、例えばGm(ジー・マイナー)、Dm(ディー・マイナー)となる。3度の音がメジャーでは長3度だったのに対し、マイナーでは全て短3度。Cmだとド・ミ♭・ソ。



(10) マイナー・シックス・コード

(□ m6)

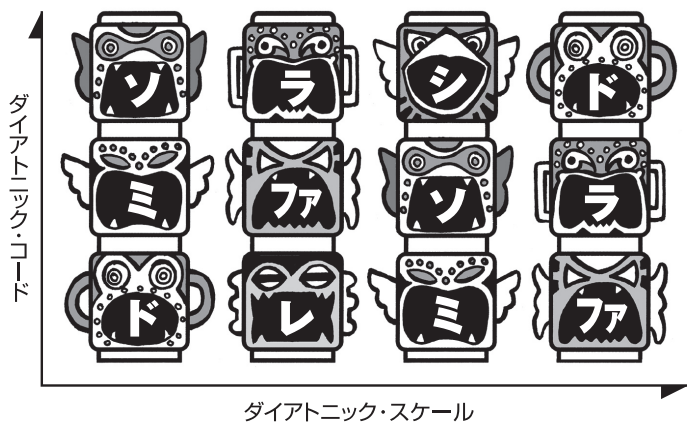
マイナー・コードに、長6度の音を加えると、しゃれた感じのするマイナー・シックス・コードになる。Cm6はド・ミ♭・ソ・ラ。



ダイアトニック・コード

Diatonic Chord

key Cの場合、基本となるスケールは、ドレミファソラシ。その各音に3度間隔で(1オクターブ以内に)音を乗せていくコード。実際のコードプロGRESSION(コード進行【p54参照】)では、3音で構成されるトライアドと4音(4thヴォイス)をミックスして使う。



メジャー・ダイアトニック・コード

Major Diatonic Chord

メジャー・スケール上に、3度間隔で音を積み上げて出来るのが、メジャー・ダイアトニック・コード。キーCだとド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シだけで作る。また、I maj7、IV maj7はI 6、IV 6として使うこともある。

C Dm Em F G Am Bm^(b5)

I II_m III_m IV V VI_m VII_m^(b5)

Cmaj7 Dm7 Em7 Fmaj7 G7 Am7 Bm7^(b5)

I_{maj7} II_{m7} III_{m7} IV_{maj7} V7 VI_{m7} VII_{m7}^(b5)

マイナー・ダイアトニック・コード

Minor Diatonic Chord

同様にマイナー・スケール（この場合はナチュラル・マイナー・スケール）上に作られる。

Am Bm^(b5) C Dm Em F G

I_m II_m^(b5) III IV_m V_m VI VII

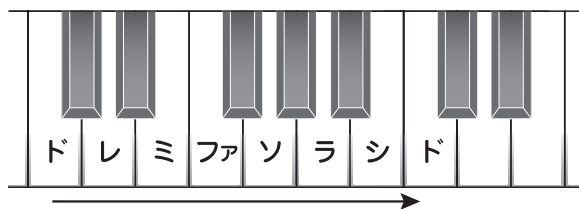
Am7 Bm7^(b5) Cmaj7 Dm7 Em7 Fmaj7 G7

I_{m7} II_{m7}^(b5) III_{maj7} IV_{m7} V_{m7} VI_{maj7} VII7

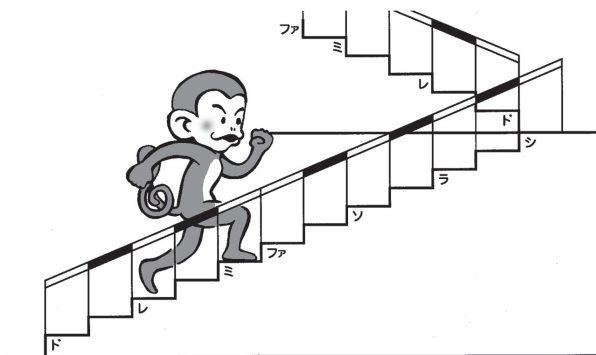
スケール (音階)

Scale

スケールとは音階、つまり音の階段のこと。一定の規則にしたがってオクターヴ内に、低い音から高い音へと順に配列された音の階段のようなもの。メロディーやハーモニーはスケールを土台にして作られる。簡単に言うと、ドーレミファソラシド。



矢印の方向へ、ひとつずつ弾いていくと、ドレミファソラシドのスケール(音階)になるのだ!



● 著者プロフィール

小林 一夫 (こばやし かずお)



1947年3月25日京都市生まれ。日大二高在学中よりギターを始める。

武蔵野音楽学院院長、榎本滋郎氏にエレクトリック・ギター、クラシック・ギター、聴音のレッスンを受ける。国立音楽大学講師大室勇一氏にアルト・サックスのレッスンを受ける。エレクトリック・ベース、キーボード、ウクレレ、ドラムス、ボーカルを独学でマスター。武蔵野音楽学院その他でギターなどを教授。バンド演奏活動をするかたわらステージ・アレンジも行う。ヤマハ音楽振興会では楽曲の編集、資料の作成・採譜。またアポー・ミュージックでは、音楽出版社の採譜・解説文等を担当。ショコット・ボイストレーニング・スクール音楽講師。現在はJOYFUL ARTSにて執筆を中心に活動。趣味は、湯巡り・絵画鑑賞・カラオケ・性格学・小鳥や虫の鳴き声鑑賞。好きな言葉は「ゆっくり行くものが、遠くまで行く！」

主な著書：『ピアノで鳥唄』（中央アート出版社）

『ピアノでうたうみんなの愛唱歌101』（中央アート出版社）

『続・ピアノでうたうみんなの愛唱歌101』（中央アート出版社）

『続・ギターでうたうみんなの愛唱歌101』（中央アート出版社）

『図解でわかるスケール（音階）の知識』（中央アート出版社）

『ギターで歌う昭和の名曲1～5』（中央アート出版社）

『やさしいロックギターのひき方』（成美堂出版）

『やさしいロックベースのひき方』（成美堂出版）

『やさしく楽しく楽譜の読み方』（日東書院）

『やさしくたのしくギター初歩の初歩』（日東書院）

『やさしくたのしくピアノ初歩の初歩』（日東書院）

弾いて 覚えて 調べて

MS162 図解でわかる コード(和音)の知識

C111230(003-1.0x)

2009年2月25日 第1刷発行

2011年12月30日 第3刷発行

著者：小林 一夫

表紙：楽譜工房FmF

楽譜浄書：楽譜工房FmF

印刷：株式会社 日本制作センター

製本：株式会社 日本制作センター



発行者：吉開 狭手臣

発行所：BAD 中央アート出版社

〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-11-4

TEL 03-3861-2861 (代表)

FAX 03-3861-2862

振替口座 = 00180-5-66324